

Ⅱ. 連結決算の概要

当第3四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、他事業者への契約切り替えの影響や、平成30年北海道胆振東部地震の発生に伴う停電および道民の皆さまから節電にご協力をいただいたことなどによる販売電力量の減少はありましたが、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響などにより、営業収益（売上高）は、前年同期に比べ101億円（2.0%）増加の5,307億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、101億円（1.9%）増加の5,324億円となりました。

支出面では、平成30年北海道胆振東部地震に伴う石油火力発電所の焚き増しなどや燃料価格の上昇による燃料費・購入電力料の増加はありましたが、豊水による水力発電量の増加や火力発電設備に係る定期検査費用の減少に加え、経営基盤強化推進委員会のもとでの資機材調達コストの低減や創意工夫による工事工程の見直し等、更なる効率化・コストダウンの成果の上積みなどにより、営業費用は、前年同期に比べ43億円（△0.9%）減少の5,012億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、63億円（△1.2%）減少の5,116億円となりました。

以上により、営業利益は、前年同期に比べ145億円（97.7%）増加の294億円、経常利益は、164億円（382.2%）増加の207億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、平成30年北海道胆振東部地震による苫東厚真発電所や送配電設備の復旧に要した費用等40億円を特別損失に計上したことなどにより、121億円となりました。

連結収支比較表

（単位：百万円）

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経常収益	営業収益（売上高）	530,700	520,526	10,174	102.0	733,050
	電気事業営業収益	508,738	497,409	11,328	102.3	701,526
	その他事業営業収益	21,962	23,116	△1,154	95.0	31,524
	営業外収益	1,742	1,812	△70	96.1	2,229
	合計	532,442	522,338	10,104	101.9	735,279
経常費用	営業費用	501,219	505,615	△4,396	99.1	699,324
	電気事業営業費用	482,017	485,425	△3,408	99.3	671,831
	その他事業営業費用	19,201	20,189	△987	95.1	27,492
	営業外費用	10,440	12,412	△1,972	84.1	16,534
	合計	511,659	518,028	△6,368	98.8	715,858
〔営業利益〕		[29,481]	[14,911]	[14,570]	[197.7]	[33,726]
経常利益		20,782	4,310	16,472	482.2	19,421
渴水準備金引当又は取崩し		1,405	△1,251	2,656	—	△931
特別損失		4,067	—	4,067	—	—
税金等調整前四半期（当期）純利益		15,310	5,561	9,748	275.3	20,352
法人税等		2,898	1,573	1,324	184.2	3,190
四半期（当期）純利益		12,411	3,987	8,424	311.3	17,162
非支配株主に帰属する四半期（当期）純利益		253	397	△144	63.7	612
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益		12,158	3,590	8,568	338.7	16,549

連結対象会社

連結子会社		持分法適用会社
北海電気工事(株)	北海道計器工業(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG栈橋(株)※
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)		

※ 石狩LNG栈橋(株)は、平成30年4月2日に設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間から持分法適用会社を含めています。